

扶助者聖マリアのノヴェナ

2日目（5月16日 日曜日）

今の自分の状態を確認する。

バルティマイ(46)

10・46 イエスが弟子たちや大勢の群衆と一緒に、エリコを出て行こうとされたとき、ティマイの子で、バルティマイという盲人が道端に座って物乞いをしていた。

<コメント>

調布：昨年、コロナが始まったころサレジオ神学院のユースセンターにたくさんのベトナム人の若者たちが集まるようになりました。当初コロナで帰国できなくなった方もいらっしゃいましたが、現在は多くは日本で働く若者と日本で働きながら学ぶ留学生の若者です。

また、サレジオ神学院のユースセンターの一角にフードバンク調布の方々が活動しています。コロナで生活が困難になった一人親世帯や、子ども食堂などに食料品を提供していて、コロナになってから生活困窮者が増えているということを知りました。（藤永）

松戸：高齢のご夫婦の二人暮らし、どちらかが亡くなられて、一人暮らしをしている高齢者も目立ちます。近所で出来る事は限られてはいますが、朝いつもの時間になっても雨戸が開かなかったりする時は、気にかけています。また、分からない事があってうちにいらした時は、話を聞くようにしています。同じ様な事で毎日いらっしゃる時もありますが、会話をすると「安心した。」と、帰られて行きます。これからも良い距離感で見守っていきたいと思っています。（足立恵）

松戸：新型コロナ・ウィルスの影響が、一年以上に渡り継続し、さらに強力な変異型ウイルスが猛威を振るい、解決の見通しが見えない中であっても、心は平穏な状況にあります。幸いにも、2019年の2度目の手術後、自分の体調と比べ、決して順調とは言えない検査結果ではありましたが、現在のコロナ・ウィルスの大流行前に、検査結果も良好になり、今を迎えています。これも、偏に周りの皆様のお祈りのお陰だと、ただただ感謝するのみです。（足立一）

四ツ谷：数個のバイトをしている。また年老いた叔母の手伝いなど、仕事上も年老いた人であふれている。一つの視点からばかり見ず、色々な視野から物事を見る事、自分を見る事、それが神様からの視点に少しは近づくとと思う。色々な人と関わる事が、大きな自分を作っていく、と思う（小野）

土浦：私は、ほとんど家で過ごしています。73歳持病持ちですので、コロナに感染しないようになるべく出歩くことを避けるようにしています。しかし、現状は大きく変化し、妹夫婦と3人暮らしでしたが、姪の家族4人（小1/小3男児）が同居することになり、3世帯7人家族となりました。静観としていた我が家は今や打って変わり、大変賑やかになり、困惑しています。そのような中で、うまく交われない自分があることも事実です。つたない私の祈りで。聖母に力を借りながら主の導きを願って祈り続けています。（江口）

Patty

El segundo día de la novena me identifíco...

Los homeless que viven marginados por sus propias familias, por la sociedad, ellos no piensan en su futuro, viven sólo el presente, conversando con algunos de ellos, siempre su conversación es "No se si mañana estaré vivo" ...Ellos

Necesitan una palabra amiga, ser escuchado, que le den esperanza para vivir.

Son mendigos ciegos que no quieren aceptar la realidad de su vida.

La entrega al servicio para los homeless ,hace llegar y sentir el Amor incondicional de María .

パティ・オカダ

2日目の箇所の分かち合いをします。

浜松には路上生活者がいます。彼らは家族や社会から阻害されていて、将来を考えていません。今だけを生きているのです。彼らは「明日、生きているかなんて分からないから」と言います。彼らには温かい言葉が必要です、誰かが聞いてあげること。彼らには生きるための希望が必要です。人生の現実を受け入れたくないのです、盲目の物乞いのように。心からの奉仕は、彼らにマリアの無限の愛を感じさせ、それを届けることができます。

<扶助者聖母マリアのご像の紹介>

このご像は、東京 ADMA が発足したその年のクリスマスに、故チプリアニ管区長様から頂いた扶助者聖母マリアのご像です。

【チプリアニ神父様のお言葉】

毎月欠かさず来てくださって、美しい祈りの声、歌声を、この修道院中に響かせてくださり、みんなすごく感謝しています。

これからもずっとこのような形で続けてくださるようお願いしたいと思います。

考えてみましたら、管区長館に扶助者聖母の像がなかったので、「扶助者聖マリアの会」と言うことですので、このご像を送ります。

みなさんがこの会をされるたびにこれを飾って、このマリア様を中心にお祈りを捧げてくださったらと思います。これはまさにみなさんのものでもあります。このマリア様は私のものだと考えて頂けたらと思います。



<最後の祈願（ドン・ボスコが作成した扶助者聖マリアへの祈り）>

「おお、マリアよ、力あるおとめ、
輝かしい教会の母、
素晴らしいキリスト者のたすけ、
戦いにおいて配置された軍勢のような力を持ち、
世界のあらゆる異端をうちこわし、
不安や苦難、
困難にあってから私たちを守るマリアよ、
私たちが死を迎える時、
魂を受け取り、
天国へと導いてください。
アーメン」

<祝福>

<チマッティ神父様のアベマリア>